

夢描く場所

千葉市立高等特別支援学校

学校だより 第4号

令和3年 7月15日

「今の心(気持ち)を人に言う=？」

先日、1年生が2日にわたり5グループで10か所の職場見学に行ってまいりました。私も2か所に同行させていただき、生徒たちが「働く」ということについて、どんな様子で向き合っていくのかを見聞きすることができました。

まずは、本校を卒業してから5年間(今年6年目)、施設管理の仕事をしている先輩の話聞くことができました。「学生時代にしておくの良いことは何ですか？」という生徒からの質問に、ご自身は学生時代を振り返り、生真面目すぎて先生方や友達とコミュニケーションをとるのが苦手だったと前置きしながら、①ルールやマナーを身に付ける②経験を重ねる③自分に合った仕事を探すことが大事だと答えてくれました。当時から徹底されていた、挨拶することや時間を守ること、心を込めて掃除することが、今現在も非常に役に立っているとのことでした。同僚の方や所長様からも、「利用者さんにも気持ちの良い挨拶をしてくれている。」「失敗してもきちんと報告してくれる。」「誠実に対応してくれるので任せられる。」等の評価をいただいているようでした。立派に働いている卒業生の姿から、本校が合言葉のように取り組んでいることが、しっかりと学校教育目標「社会自立、職業自立を目指し、誠実で心豊かな社会人として生きる力を育成する」につながっていると感じることができ、大変うれしく思いました。



次に社長様からもご講話いただきました。「働くということは、労働という漢字からも苦勞など辛いことと捉えられるが、喜働(きどう:喜んで働く)とすることが大切である。信念をもってプロフェッショナルとして喜んで働いてほしいと願っている。」「信念という字は今の心(気持ち)を人に言うと書くのですよ。自分のしたいこと、考えをもって働いてほしい。」なるほどと感銘を受けるお言葉をいただきました。

2・3年生は若干のずれはありますが6月21日から7月2日まで2週間の現場実習を行ってまいりました。先週9日は、現場実習報告会が体育館で実施されました。実習に行っていた生徒一人一人が、どこでどんな活動をし、何が身に付いて何が大変だったか、これからの学校生活にどのように活かしていきたいかということを自分の言葉で報告しました。正に、「今の心(気持ち)を人に言う」信念をもつというか固めるということを実践する機会となりました。うまく伝えられなかったり言葉では表現できなかったりという場面や部分はあったかと思います。しかし、今回の報告会を経て、先輩の話聞いた1年生は現場実習のイメージをつかんだり、2年生は明確になった課題をどう解決するかを考えたり、3年生はいよいよ覚悟を決めたり、これも先に卒業生が話してくれた経験を重ねることにつながっていると思います。

明後日から夏休みに入ります。進路面談も予定されています。自分に合った仕事を考えるための時間がたっぷりあります。この機会に是非、ご家庭でも「今の心(気持ち)を人に言う」自分の進路に対してどう考えているのか、自分の思いを伝えるということを経験させていただけたらと思います。

校長 三宅 健二郎